

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第160回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第161回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第162回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第60回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第160回運営委員会議事録

期間:2023年8月9日(水)～8月17日(木)

議題:事務局体制検討作業部会の再編成について

運営委員会委員:

出席(23名)

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 奥住 聡, 関根 康人, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 瀧川 晶, 白井 寛裕, 三浦 均, 横田 勝一郎, 中本 泰史, 亀田 真吾, 関 華奈子, 村上 豪, 百瀬 宗武, 野村 英子, 癸生川 陽子

欠席(0名)

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法:上記期間内に steering@wakusei.jp 宛に投票

議題:

事務局体制移行について検討を再開するため, 将来計画専門委員会のもとに設置した, 「事務局体制検討作業部会」を再編成したく, その提案について承認を求める。

目的:

事務局の業務移転がほぼ完了し, 事務局の移行検討作業を再開する見通しがついた。

そこで, 現作業部会を新たに編成して, 新作業部会の下で検討を行う。

なお, 現作業部会は, 本提案が承認され次第, 解散とする。

新作業部会の課題は以下の4点である。

- ・現在の委託から新事務局への移行によって生じる可能性のある課題の抽出
- ・新事務局の移転先(現在, 委託している木田氏への委託継続も含め)の提案

- ・ 移行に必要な手続きを勘案した適切な移行時期の提案
- ・ 移行時に引き継ぐ項目(学会サーバーコンテンツ含む)の整理

部会の構成:

諸田 智克(部会長), 小林 浩, 佐伯 和人, 佐々木 貴教, 平田 成, 千秋 博紀

期限:

この作業部会の活動は, 次期事務局体制について方針を出すまでとする.
運営委員会に方針案を説明した後に解散する.

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可23・否0).

以上

◇日本惑星科学会第161回運営委員会議事録

期間:2023年9月14日(木)~9月20日(水)

議題:

- ・ 本会事務局との契約及び保険料について
- ・ 事務局内規の制定について
- ・ 学会サーバシステム更新作業に伴う作業費の追加支払について

運営委員会委員:

出席(23名)

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 奥住 聡, 関根 康人, 大竹 真紀子, 千秋 博紀,
小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 瀧川 晶, 臼井 寛裕, 三浦 均, 横田 勝一郎, 中本 泰史, 亀田 真吾, 関 華奈子,
村上 豪, 百瀬 宗武, 野村 英子, 癸生川 陽子

欠席(0名)

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法:上記期間内に steering@wakusei.jp 宛に投票

議題 1:

本会事務局の今年度の契約と事務員の社会保険契約に伴う保険料の支払い増分について, 承認を求める.

内容:

本会事務局の事務員の今年度の契約について, 詳細な契約内容が決定したため, その承認を求めたい.
契約書は添付ファイルのとおりである(議事録では省略する).
契約日は諸手続の関係上, 契約期間前日の2023年3月31日付けに遡って承認願いたい.

なお、事務員の氏名・住所・最寄りバス停については個人情報保護の観点から黒塗りとしている。

また、事務員の社会保険の契約に伴い、保険料事業主負担分の支払いの増分が必要になったため、学会の予算からの支払いをお願いしたく、承認を求めたい。

なお、支払見込額は月額27,189円、支払い開始は本年10月を見込んでいる。

社会保険手続きに関しては、事務員側の準備が5月末には整っていたにも関わらず、学会側の対応が著しく遅れてしまった。

本来であれば7月支払い開始となっていたはずであるため、3ヶ月分(7~9月)の相当額を事務員に補填するものとしてほしい。

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可23・否0)。

議題2:

事務局内規の制定と、事務局と直接、契約や相談等を行うための事務局担当者を総務専門委員会に配置することについて、承認を求めらる。

内容:

本会事務局事務員の社会保険契約に伴い、会則に事務局所在地の記載の必要性が緊急で生じた。

会則変更は総会での承認が必要であるため、今回は事務局内規の制定を行い、その承認を求めらる。

なお、内規案については以下に記載の通りである。

内規の制定については会則上、総会での審議・承認は必要ではないが、

事務局の内規が制定された旨は会則に追加し、10月の総会にて審議を諮る予定である。

また、事務局とのやり取りを今後も円滑に行うための事務局担当者を総務専門委員会に配置したく、その承認も求めらる。

なお、その旨も内規に記載し、内規が承認・施行され次第、事務局担当者として渡邊誠一郎会員が就任する予定である。

本人からは内諾を得ている。また、総務専門委員会への新規委員として、内規施行と同時に追加する。

内規案:

日本惑星科学会事務局内規

(目的)

第1条 本会の事務を処理するため、事務局をおく。

(事務局担当)

第2条 事務局との契約、業務の依頼等の連絡、相談、対応のため、総務専門委員会内に担当者をおくことができる。

(所在地)

第3条 本会の事務局は、京都市中京区新町通三条上ル町頭町112 菊三ビル2階 201号室(Ogyaa's御池内)、におく。

(改訂)

第4条 この規定の変更は運営委員会の議決を要する。

2023年9月20日成立, 即日施行

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可23・否0).

議題3:

クレジットカード支払いシステム変更に伴う作業費の追加支払について, 承認を求める.

内容:

昨年から今年にかけての事務局体制に伴い, クレジットカード支払いのシステム変更が行われた.

そのシステム更新作業費の支払いを行う.

今回は突発的な作業を行い, カード会社の選定や決済テストの調整等に半年間の時間が費やされた.

従来 of 支払状況等を鑑み, 30万円程度の支払いが適切であると考えられる.

上記予定支払い額を作業従事者に確認して, 双方了承の金額を支払う.

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可23・否0).

以上

◇日本惑星科学会第162回運営委員会議事録

日時:2023年10月11日(水) 18:30 - 20:30

場所:アステールプラザ(美術工芸室)+オンライン

運営委員:

出席(19名)

竝木 則行, 今村 剛, 中村 昭子, 玄田 英典, 保井 みなみ, 奥住 聡, 関根 康人, 大竹 真紀子, 千秋 博紀, 小林 浩, 田中 秀和, 諸田 智克, 三浦 均, 横田 勝一郎, 関 華奈子, 野村 英子, 亀田 真吾, 百瀬 宗武, 癸生川 陽子

欠席(4名)

瀧川 晶, 臼井 寛裕, 中本 泰史, 村上 豪(委任状:4通)

オブザーバー:

藪田 ひかる(2023年秋季講演会組織委員長)

中島 健介(2024年秋季講演会組織委員)

渡邊 誠一郎(総務専門委員)

佐伯 和人(財務専門委員)

黒川 宏之(2023年学会賞選考委員長)

藤谷 渉(総務専門委員)

議題・報告事項:

1. 事務局移行の準備状況について(竝木 会長)

- ・ 「事務局体制検討作業部会の活動報告書」に沿って、事務局移転について経緯の説明がなされた。

1-1. 現在の事務局体制及び来年の契約について(渡邊 総務専門委員)

- ・ 「現在の事務局体制及び来年の契約について」という資料に基づいて説明がなされた。
- ・ しばらくは渡邊総務専門委員が事務局とのつなぎ役になる。
- ・ 契約に関する改訂の提案(先方の了解を得ている)が本運営委員会において承認された。

1-2. 事務局内規の制定及び会則変更について(保井 総務専門委員長)

- ・ 事務局員の社会保険の手続き上、会則または内規に事務局の所在地を記載する必要がある。
- ・ 事務局内規の制定とそれについての文言を付則に追加することとする。
- ・ 会則へ「会則の制定日、施工日」を追加する。
- ・ 以上の提案は本運営委員会において承認され、総会で審議される。

1-3. 今後の事務局運営体制について(諸田 事務局体制検討部会長)

- ・ 今後の事務局運営体制や財務関連・惑星サーバについて、他学会(惑星科学会、火山学会、地球化学会、SGEPSS)と比較しながら、現状と移行による問題の説明がなされた。
- ・ 現在の運営体制は惑星サーバーに最適化されており、事務局委託業者に現状と同様な機能・作業をお願いすると委託費100万円/年程度の増額が見込まれる。
- ・ サーバー機能、作業項目をシェイプアップする必要がある、運営委員会・各専門委員会で継続すべき・削減可能な機能・項目を検討していく。
- ・ 新体制は諸田智克会員、小林 浩会員、佐伯 和人会員、佐々木 貴教会員、千秋 博紀会員、平田 成会員。
- ・ スケジュールに関して、2023年内に部会・運営委員会で大まかな方針を決めるとの提案がなされた。
- ・ 学会誌の紙媒体での継続について議論すべきとの意見があった。
- ・ 予算管理を外注にしてほしいとの意見があり、外注すると70-80万円/年程度の経費がかかるとの説明がなされた。
- ・ 以上のことは本運営委員会において承認された。

2. 2023年秋季講演会報告(藪田 2023年秋季講演会組織委員長)

- ・ 参加登録者数は267名、予稿投稿数は200件であった。
- ・ 口頭発表数の調整をするため、SOCを試行的に設け、口頭希望の約35件の発表をポスターに移動した。
- ・ 講演会経費について、収入は1,341,728円、支出は1,414,440円であった。(10月11日現在。懇親会収支を除く)
- ・ 前財務委員長より、これまで懇親会費の余剰は毎年のLOCで引き継いできたが、その内容について記録する必要があるとの指摘があった。また、財務委員長より、懇親会費の余剰は今後学会(財務委員会)に吸収してはどうかとの提案があった。

3. 2024年秋季講演会実施案(中島 2024年秋季講演会組織委員)

- ・ 会期は9月24-26日、会場は九州大学 医学部 百年講堂。
- ・ 組織委員長は奈良岡浩会員。

- ・ 懇親会・一般講演会を開催するかは検討中。
 - ・ 講演会経費は1,260,000円の予定。
 - ・ 上記実施案は本運営委員会において承認された。
4. 財務委員会報告(横田 財務専門委員長)
- 4-1. 第17期下期一般会計・特別会計予算案
- ・ 予算案の説明がなされ、本運営委員会において承認された。
 - ・ 会費のクレジット決済代行用の口座を現委員長の個人口座に切り替える旨、報告がなされた。
- 4-2. 第16期下期一般会計決算報告書の修正について
- ・ 佐伯前財務専門委員長より、「2022年度決算の要確認事項について」という資料に基づいて報告がなされた。
 - ・ 会費収入の間違ひは、学生会員区分が間違ひて正会員一般になっていたのが原因。
 - ・ 購読料についても修正の報告がなされた。
 - ・ 以上は本運営委員会において承認された、総会で審議される。
- 4-3. 学会予算を扱う口座数の削減案について
- ・ 佐伯前財務専門委員長より、「財務関連業務シェイプアップ案」という資料に基づいて報告がなされた。
 - ・ 「決算報告における特別会計分離の廃止」と「管理する口座の削減」について提案がなされた。
 - ・ 特別会計は余剰金を運用するための役割もある、との意見があった。
 - ・ 以上は本運営委員会において承認され、総会で審議される。
- 4-4. 自然災害に伴う会費免除措置等について
- ・ 本運営委員会において審議されず、メール審議することとした。
5. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)
- ・ つつがなく発行されている旨、報告がなされた。
6. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)
- ・ 現在の会員数について報告がなされた。
7. 第60回総会の議長及び書記の推薦について(保井 総務専門委員長)
- ・ 議長に石山 謙会員、書記に横田 康弘会員が推薦され、本運営委員会において承認された。
8. 2023年度最優秀発表賞・優秀発表賞選考結果について(黒川 学会賞選考委員長)
- ・ 発表賞には19名エントリーがあり、予稿の内容でセレクションを行った結果、10名が審査対象となった。
 - ・ 口頭発表と個別審査があり、最優秀発表賞に湯本航生会員、優秀発表賞に吉田 雄城会員と土井 聖明会員が推薦された。
 - ・ 上記は本運営委員会において承認された。
9. その他
- ・ 研究倫理・ハラスメントに関する学会指針を検討していく。

- ・ 委員長交代の準備をそろそろ始める。
- ・ 学会サーバの運用方針については、今期の運営委員会が責任を持つべき。
- ・ フットサル大会の開催についてomlで周知したい旨の提案があり、学会員の交流を図るためであればよいとの判断がなされた。

以上

◇日本惑星科学会第60回総会議事録

日時:2023年10月12日(木) 16:05-17:35

場所:広島市文化交流会館 3階 大会議室「銀河」
(〒730-0812 広島県広島市中区加古町3-3)

正会員数:628名

定足数:63名

参加人数:141名

委任状:102通(議長:99通, 保井 みなみ会員:2通, 中村 昭子会員:1通)

1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に石山 謙会員, 書記に横田 康弘会員が選出された。

3. 議事

3.1. 審議事項

・第17期下期一般会計・特別会計予算案報告(佐伯財務専門委員)

2023年度予算執行状況について説明がなされた。

収入は例年通りとの報告がなされた。支出については、遊星人のページ増による増加と、秋季講演会費用が想定より20万円多くなることの報告がなされた。また、事務作業マニュアル化のため引継ぎ費用が計上されて一時的に赤字となるが、繰り越し金が900万円あり引継ぎ期間内は問題ないとの説明がなされた。

・第16期下期一般会計決算報告書の修正について(佐伯財務専門委員)

第16期下期(2022年度)一般会計の決算報告書において5,000円の端数が生じた問題の調査結果報告がなされた。調査の結果、新入会員の会員区分(学生会員と正会員一般)について手続き間違いが判明したと説明がなされた。

また、滞納分と購読料の付け間違いを修正した件と、今後は備考欄等に個人名は記載しない旨の報告がなされた。

これらの修正に伴うデータベース差し換えについて採決をとるとの説明がなされた。

・財務事務作業のシェイプアップについて(佐伯財務専門委員)

イーサイド撤退に伴い2023年度から事務作業が3倍になっており大学教員に担当できる量でなくなっているとの説

明がなされた。対策の方針として (1)一般会計への一本化, (2)管理する通帳(口座)の削減について説明がなされ、ひとつの口座で一般会計を管理する案の提案がなされた。

また、早期に業務委託法人への口座管理委託をお願いしたいとの説明がなされた。

・事務局内規制定に伴う会則の変更について(保井総務専門委員長)

4月から事務局業務を個人に依頼する体制になり社会保険・労働保険の契約が必要であり、体制変更に伴って事務局内規を作成したことの報告がなされた。

会則への内規と会則制定日・施行日の附記について採決を行うことの説明がなされた。

・質疑応答及び討論

財務事務作業シェイプアップの案に対して、今後もし大きな寄付があったとき特別会計が必要ではないかとの質問がなされた。佐伯財務専門委員から、統一といっても口座を消すわけではなく復帰は可能と説明がなされた。

・採択1

財務関係に関する審議事項の採決が行われ、賛成: 143, 反対: 0, 保留: 0により採択された。

・採択2

会則変更に関する審議事項の採決が行われ、賛成: 148, 反対: 0, 保留: 0により採択された。

3.2. 報告事項

・自然災害に伴う会費免除措置について(佐伯財務専門委員)

自然災害に伴う会費免除措置について説明がなされ、最近申し込みが少ないが気軽にご連絡いただきたいとの告知がなされた。

・2023年度秋季講演会開催報告(藪田2023年秋季講演会組織委員長)

2023年度秋季講演会の実施状況について報告がなされた。

参加申し込み267名、予稿200件であったと報告がなされた。

財政については物価高騰によりやや赤字になったとの報告がなされた

今回の運営にはLOC3名と学生11名に加えて試みとしてSOC(プログラム担当)を設けており、口頭発表の時間確保のためSOCにより申し込み約35件についてポスターへ回っていただいたとの報告がなされた。

申し送り事項として、今後発表時間を確保しつつ発表形式の希望を満たせる方法を考えていただけるとありがたいとの説明がなされた。

・2024年度秋季講演会開催案内(中島2024年秋季講演会組織委員)

2024年度秋季講演会の開催計画について報告がなされた。

開催期間としては2024年9月24日(火) -26(木)であり、福岡市内の九州大学医学部 百年講堂で対面開催を予定していると報告がなされた。

会場に関しては、費用の安い伊都キャンパスを用いる場合には、福岡中心部から遠い、ホテルもごく少数、交通障害の頻度が高いといった問題があり、確実性のため百年講堂を使用したいとの説明がなされた。また、感染症対策のため、参加者数×2程度の会場を確保したい旨の説明がなされた。これらの理由から百年講堂を使うために学会からの補助をお願いしたい、との説明がなされた。

・追加報告:事務局移行の準備状況について(竝木会長)

中本会員に検討いただいていた事務局移行については、事務員1名を雇用してサーバーを用意している状況であるが、今後5年10年後このままでは難しいとの説明がなされた。

諸田会員が今後の体制について検討を行っており、具体的案が決まったら総会で報告し、その半年後に決定したいとの説明がなされた。

-質疑

「半年後」とは具体的案を報告した総会の次の総会という理解でよいかとの質問がなされ、竝木会長からその通りとの回答がなされた。

3.3. 学会賞受賞式

・2022年度最優秀研究者賞(竝木会長)

野津翔太会員に対して、表彰状及び副賞が贈呈された。

・2023年度最優秀発表賞・優秀発表賞

-審査結果発表および講評(黒川学会賞選考委員長)

2023年度最優秀発表賞・優秀発表賞の選考経過が報告された。本年度は19名の応募があり2003年の設立以来最多であったとの報告がなされた。10名が本審査に進み、本審査は口頭発表と個別質疑で行ったとの報告がなされた。

最優秀発表賞を湯本航生会員が、優秀発表賞を吉田 雄城会員と土井 聖明会員が受賞したと発表された。

全体の講評として、本審査の発表はいずれも優れていたが、スライドの見やすさや速度を見直すとよりよい発表になるという意見もあったことと、この賞が学生の皆さんのモチベーションになれば嬉しいとの説明がなされた。

-表彰状贈呈(竝木会長)

吉田 雄城会員と土井 聖明会員に対して、表彰状が贈呈された。

湯本航生会員に対して、表彰状及び副賞が贈呈された。

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言。

以上

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2023年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

・Harris Geospatial 株式会社

・株式会社ナックイメージテクノロジー

・株式会社ノビテック